

モニター通信 No. 1

皆さんから寄せられた「モニター通信 5月分」を紹介します。

「あなたの身近なトラブルについて」

～いろいろなトラブルが発生しています。あなたの身の回りにも発生していますか。
その解決方法は？～

モニターから No. 1

巷では振り込め詐欺電話が横行していますが、小学生の子どもを持つ私の場合、新年度が始まる春先になると、振り込め詐欺ではなく個人情報聞き出し電話が掛かってきます。今までに2回ほど経験がありますが、温厚そうな声と喋り方の男性がPTA役員を名乗り、「学年に配布する書類が不手際で混ざってしまったので、クラスごとに並べ変えたい」「先生方はお忙しいのでお手数をかけたくない」「学校から配布されている連絡網を見て、教えて欲しい」などと言って、クラス全員の名前と電話番号を聞き出そうとします。

幸い、事前に学校から「PTA役員を名乗り、電話番号を聞き出そうとする電話が掛かってくるので注意してください」とお知らせを頂いていたので引っかかることはありませんでしたが、会話の途中でとても嫌な思いをしました。こちらが「学校からお知らせが出ているので教えられない」「本当にPTA役員の方なら、お名前と電話番号を教えて欲しい」と言うと、「こっちはPTAの為に一生懸命やっているのに失礼じゃないか！」と激怒し、罵詈雑言を浴びせられました。呆れて電話を切りましたが、先方は私の電話番号と名前(他からも名簿が出回っているのでしょうか。こちらの名前を把握していました)を知っています。きっと調べれば住所等も分かるのでしょから、逆恨みされて嫌がらせなどされたら怖いなと思いました。

こういった事例は小学生の保護者のみがターゲットになっているかと思いますので、聞き馴染のない方もいらっしゃるでしょうが、もしも周囲にこれから小学校に入学されるお知り合いの方がいらっしゃったら、ぜひ注意を促してあげて欲しいと思います。

モニターから No. 2

特にトラブルにはならなかったのですが、こんなことがありました。それは今より7～8年前、隣家が当家より1メートル位ギリギリの所に新築されました。新築前それなりに簡単な話はありませんでしたが、いざ建ってみると東側の日照が無くなりました。冬場朝日が無く、特に厳しく感じられます。よく新聞等で東京の街中で日照権について裁判が行われていることが報道されていますが、ある意味その気持ちが分かるような気がします。隣家は敷地にまだ移動出来る余地があるために、余計に心理的にも納得いかないところです。しかし、昔から言われているように、向こう三軒両隣りは付き合いを大切にしなければならないと思います。

特に東日本大震災以降「絆」が人々の心の結び付きを強くし、お互いに助け合う気持ちが大切なことが浸透したと思います。世の中、権利の主張も大切ですが、人間一人では生きていけないために常に広い気持ちと柔軟な発想の感覚が肝要と考えます。

モニターから No. 3

セルフ式ガソリンスタンドで給油中、オートストップのレバーが作動しなかったため、給油口からガソリンが大量に噴き出した。店員にストップしなかったと伝えると、私が満タンなのにつき足し給油をしたと疑われた。店員は謝らない。店長はその日休みのため次の日話をしたら、機械は故障していないと言われて謝らない。

私はそのスタンドが開店してから10年以上利用していたのに、継ぎ足したと疑われ非常にショックを受け、オートストップも信用出来ないためにそれ以降給油は夫の仕事になりました。

モニターから No. 4

これまで特に大きなトラブルは経験していません。ただ、数年前にトラブルになりそうなおことがありました。それは東日本大震災後、以前外壁の塗り替えをしてもらったリフォーム業者さんが「地震で傷んだところはありませんか？」と訪ねてきた時のことです。外壁のひびが気になっていたのでもらうと、地震が原因ではない大きな傷みがあることがわかり、大規模な修理をすることになりました。見積りの中に、こちらが頼んでもいない外壁の塗り替えが入っていることを夫が見つけたのです。すぐにそれを指摘し、塗り替えは削除してもらいました。見積りをしっかり確認していて本当に良かったと思います。工事が始まってから、こんなことはお願いしていないと言えばトラブルになったことでしょう。

見積書は、素人には聞き慣れない言葉が多くざっと目を通すだけの人も多いと思います。しかし、出来る限りしっかり確認しておくことが大切だと気付かされました。

モニターから No. 5

《消費生活展にお願いしたいこと》

最近における消費者生活を取り巻く環境は、昭和時代の卒業生の高齢化に伴って以前とは全く異なっています。この状況下で、高齢者を主として消費者トラブルも毎日のように発生しており、土浦市災害情報メールでは毎日のように発出され知らされています。このような状況を見ますと、色々な犯罪があるのだなとつくづく感じますとともに、自分だったらと本当に不安を覚えました。

このことなど踏まえ、消費生活センターでは「暮らしのセミナー」、「出前講座」、各種パンフレットの配布などで注意を喚起してトラブル撲滅を推進していますが、都会から離れた片田舎では今一步の感じは否めません。一層の注意喚起が今、必要と考えます。そこで次回からの消費生活展では次について提案したいと思います。

- ①県・土浦市内近年発生の消費者トラブル発生状況周知
- ②来場者へのビラ配りの実施
- ③トラブル相談窓口の開催と暮らしのセミナー開催

について実施し、私たちの身の回りにこんなトラブルが発生していることを身に感じて頂くとともに、消費生活展開催の意義を一層高めて頂きたいと思っております。

モニターから No. 6

最近、体験したトラブルです。駐車場で軽い接触事故です。用事を済ませて後方確認をしながら

らバックで出ようとした時に、身障者用の駐車場を探しながら入ってきたお爺さんの車と接触しました。お爺さんは事故慣れしているのか、身体の具合が悪い悪いと愚痴りながら、いきなり大きな声で車検証、免許証を見せなさい。また行きつけの修理工場はないか？と畳み掛けられました。私は驚いてつい知り合いの修理工場を紹介してしまいました。お爺さんは直ぐにその修理工場に行って、キズは（微細なので）直さなくて良いから20万円欲しいと言うのでした。工場の人がお爺さんに、修理は車を購入したところの修理工場に行ってください、後は保険屋さんに連絡して処理してもらいなさいと言って下さって、その通りに解決されました。後からの反省ですが、私の事故届け等を面倒くさがる怠け心が呼び込んだトラブルでした。

モニターから No. 7

近くに義父母が住んでいるのですが、一戸建てに老夫婦二人で住んでいるせいか、いろいろな業者が来ては勧誘があります。その中で、新聞の購読で3カ月で契約したつもりがいつの間にか1年にされており、あまりにもひどいので息子である主人が新聞店に直接連絡を入れ、クーリング・オフしてもらい事なきを得ました。

モニターから No. 8

目下のところ、トラブルとまではなっていないが、困っていることといえば、隣家の猫の糞尿の被害だ。一体何匹いるのか、飼い猫なのか、野良猫なのかの区別がつかないほどだ。当然、我が家の庭にも侵入してきてはいらぬ置き土産をしていくわけである。猫を飼っている人にはかわいい猫たちだろうが、私たち家族はみんな迷惑なだけだ。自治会で猫は室内で飼おうという回覧を回しても効果なしだった。

市役所に相談したら、犬と違って猫は対処のしようがないので、自衛してとの話だった。できる限りの自衛はしているけれど、どうも後手後手に回ってしまっているみたいだ。ずばり隣家に糞の被害の事を話したけど、今後気を付けると言っただけで、改善は見られなかった。従って、いまだに解決に至っていないのが現状である。

動物愛護の観点で捨て猫を拾ってきて増やしているみたいだけれど、それならきちんと管理するべきだと思うし、管理できないなら飼うべきではないと思う。

モニターから No. 9

最近4月のある木曜日夜9時20分頃、非通知で電話が「俺〇〇、風邪をひいて少し声を変で肺炎かもしれない」とあった。

おかしいと思ったこと

- ・ニセ電話と判断し、病気なので「お母さんに代わる」と言い、間を持たせた
- ・オレオレと名前を連呼し「なんか言ってよ！！」と言うだけで用件を話さない
- ・途中2～3分で先方より電話を切られた

対応と解決方法

- ・息子の声と違うし、本人と4日前に会ったばかりなので携帯へ電話を入れ確認した
- ・やはり詐欺電話と確信ししかるべき所へ連絡した

まさかと思っていたが、いざ遭遇するとやはり考えていたような対応は取れず残念に感じた。事なきに終わったが、夜の電話にも気を付けなければと悟りました。

モニターから No. 10

駅での切符購入に関して。大人の休日クラブのカードで切符を購入しました。湯沢までの乗車券と上越新幹線の切符をセットで買いました。さて上野に着き、乗換の時間が迫っているので急いで新幹線の乗換口に行き、通ろうとしたらピーと音がして通れません。係の人が来て「どうしました」と言われましたが、私は「???'」さっぱり分かりません。「何でですか?」と言うのみです。すると、係の方が「アッ、この切符は秋田県の湯沢です」と言うではありませんか!

時間が無いので切符に判を押してもらい、後日カードを持参して土浦駅で訂正の手続きをしてもらいました。JRの窓口なのに鉄道路線図も分からない窓口の女性に、憤りを乗り越して情けなさを感じました。さすがに上野駅の係員は詳しく知っていたので、すぐに間違いに気付いてくれました。

モニターから No. 11

知り合いの親戚の方が結婚相談所に入会した。父親に電話がかかってきて、つつい話に乗って、なかなか結婚しない息子のことを話した。

「いろんな方が登録していて、条件に合った方が必ず見つかります。入会金〇十万円は〇回払いのローンで大丈夫です。」と言われ、藁にもすがる思いで父親は契約した。コンピュータで、会員の中から自分で探して、相談所に連絡すればお見合いを設定するということだ。入会するとき熱心に勧誘した人はそれっきりで、なかなか息子の相手を見つけることができず、お金は無くなっていくばかり。

父親から話を聞いた息子が、契約を解除して別の個人の結婚相談所に相談した。そこは入会金も無く、親身に話を聞いて相手を紹介してくれ、ほどなく結婚できた。その相談所は謝礼に数万円しかお金がかからなかったそうだ。

人の弱みにつけ込んだ商売が後を絶たない。人に相談して、できたら幾つか調べて比べてみるのが大事だと痛感した。

モニターから No. 12

◎年齢を重ねると足の痛みに悩む人が多いです。知人も色々高額な治療を試していました。知人の友人はもっとひどく、起き上がれない程だったとか。ところが最近、アメリカの薬を試して歩ける程に回復したそうです。そこで知人も友人に勧められて、継続的に月2万円の薬の契約を結びました。しかし、よく話を聞くとねずみ講のようなしくみだったので、クーリング・オフで解約したということでした。

◎友人はご主人に先立たれ子供もなく、愛犬と暮らしていました。最近、犬を亡くしペットロス症候群でかなり落ち込んでいました。ところが従弟と名乗る男の人から電話があり、遊びに行くと言うので、しばらく会っていない従弟だと思い、だったら遠いし泊まっていったら、ということになったそうです。それから食事の買い物、布団の用意、掃除とグッタリしているところに再度電話があり、結局お金の話になったのでハッと気付いて難を逃れたそうです。良かったのですが、疲れとショックでさらに落ち込んでますます心配です。

子供がいないのでオレオレ詐欺のようなことはないなと思っていたそうですが、どこから情報を集めているのでしょうか。

モニターから No. 13

今までにあまり大きなトラブルに巻き込まれたことはありませんが、時々勧誘の電話に困ることがあります。たとえば売りたい宝石や洋服はありませんか？とか、3枚で1000円の布団クリーニングをしてみませんか？等のセールス関連のことや医療保険の勧誘等です。電話で勧誘してくるものにロクなものはないと確信しているので、ほとんどこれらの勧誘にのることはありません。

ただ、これらの勧誘されたことから、相手の手口がどのようなものなのか把握しておきたいという気持ちはあります。先日の消費生活セミナー（第1回）の資料の中でその事例が出ていたので、そういうことなのかと納得しました。消費生活センターで扱ったことのある事例を数多くあげて頂けると、今後私たちもいろいろな形で情報を発信していけるのではないかと思います。

モニターから No. 14

会社でのトラブルについて。まさにこのテーマの通りで、職場の上司から不当な疑いをかけられ不愉快になり、職場の皆に相談しました。その上司はまだ転勤して間もなく、とにかくトラブルの連続で何人もの人が迷惑を掛けられていました。ついに私にも来たかと思いました。転勤前の支店では、その上司が異動して喜んでいるなどの情報もあり、人事に相談することになりました。

結果に期待したいと思います。

モニターから No. 15

昼食の片付けも終わり、のんびりとテレビを見ていた時だった。電話が鳴り出してみると、力無げな声で「〇〇だけど・・・」と「え？〇〇ちゃん？今どこ？」と言うと、電話は急に切れた。息子の声のようでもあり、でもあまりに元気の無い声だったな一と思った。「今、どこ？」と聞いたのは、息子は今海外に単身赴任中だったからだ。帰ってきているとは聞いていないし、でももしかして病気なのかもしれないと、連絡を取った。案の定「電話なんかしてないよ！それオレオレ詐欺じゃないの。しっかりしてくれよ！」とたしなめられた。

相手から切られた電話だったので事なきを得たが、巷で騒がれていることが我が家にも起きようとしたのだと、ひやりとした一瞬だった。

モニターから No. 16

身の回りノトラブル、特にそういうことは何もないので、レポートするまでもない。一つだけ取り上げるとすれば、庭の芝生に野良猫が来てフンをすることである。誰が飼っているという訳ではないので苦情も言えず、ご近所も同じことで困っている。見つけたら追い出すくらいのことしかできない。何か良い方法があれば、知りたいと思う。

モニターから No. 17

《消費者として考えさせられたこと》

インターネット通販の拡大で宅配便の量が急増し、また人手不足による長時間労働も相まってブラック化と指摘されることも多い厳しい労働環境にある宅配業界。利用者の都合で2度、3度と足を運んでも荷物を届けない限り賃金は発生せず、過酷な労働を強いられることも少なくは

ない。結果、離職をする人も多いという。私も再配達してもらうこともあるが、正直当たり前のサービスとして今まで認識していたように思う。

昨今の報道によって配達員の方のご苦勞に改めての感謝の気持ちを持つと同時に、度重なる過剰なサービスを求める際には別途料金を支払っても止む得ないなど、消費者としてサービスについての意識の改革が必要だと痛感しました。

モニターから No. 18

古希を迎えてから社会生活が縮小したからだろうか、身の回りのトラブルは極めて少なくなっていると思う。他人のために社会的なトラブルの解決のために尽力する機会も少なくなり、自分自身に社会的なトラブルを抱えることもなく安穩と過ごす日々である。

ただ気になることはある。それは自分自身の「終活」を考えると何か予測不可能なトラブルが発生するのではないか、一抹の不安がある。その不安について相談をすることができる公的機関などが不分明で、どこに相談を持ち掛け真摯な対応を期待してよいのか、トラブルの解決法が分からない。この点が高齢者のトラウマにならないようにするには、どのようにしたら良いのか、その解決法を見つけることがトラブル予防につながるのではないかと。行政の真摯な対応に期待したい。

モニターから No. 19

平成11年4月にマイホームを購入した時のトラブルについて。精算は全て終了したはずなのに、入居してから1ヶ月後くらいに追加請求40万円位が届きました。30世帯位の同じような条件の分譲地であり、信用ある不動産会社のはずでしたが驚きました。今までの明細を確認して問い合わせすると、当時信用していた担当者は退職したとかで、話がスムーズにいかず困りました。

長時間にわたり主人と会社がやりとりして、その結果社長が自宅に来訪し当時の担当者のミスで最終的には10万円程の追加料を払いました。精神的にも疲れましたが、すぐに支払いしなくてよかったと思います。資料は全てとっておくことが大切です。

モニターから No. 20

安易にトラブルに巻き込まれそうになるのは「携帯電話のショートメッセージサービス」です。うっかり返信してしまいそうになりますが、これはすぐに削除します。今でもよく電話勧誘があるのは「不用品の買い取り」「家のリフォーム・修理」「外壁工事」等ですが「この間やったばかりです！」と断ります。息子の名前を語った「オレオレ詐欺」も何回もありましたが、母親の直感で「声が違う」とすぐ分かり「息子はここに居りますヨ〜！」と言うとすぐ切れました。

いろいろなトラブルに巻き込まれないようにするためには「世の中にうまい話はない！」と心得、日頃から詐欺・悪質商法の手口に関心を持ち、友人・隣人同士でいつも話題にして警戒を怠らないようにすることだと思います。